

令和2年度 石狩翔陽高校 野球部紹介

～Ishikari Shoyo High School Baseball Team～



- 部 訓 「全 員」「全 心」「全 力」
- 目 標 北海道1 → 野球のみならず何か一つ！
- 目 的 野球を学び、野球で人間力向上
 - ①心を鍛える（忍耐力・思いやり等） ②身体を鍛える
 - ③チームワークの大切さを学ぶ
 - ④集団生活・社会生活でのルールを学ぶ（社会への適応力）
 - ⑤自己への勇気と自信をつける（自立・自律へ） など

部 長 小澤 正明

監 督 中山 靖志

顧 問 嶋村 直哉

野球も卒業後の進路も大切！

高校野球で、自分づくり・仲間づくり！

1) 創 部

2001年、前身の石狩高校から石狩翔陽高校へ。学校創立と同時に野球部として活動を開始する。石狩高校時代から含めると50年以上の歴史があり、地域の高校野球発展に大きく貢献してきました。

2) 部 訓

本校野球部は、将来社会人として社会に貢献できる人間の育成を第一と考え、『全員』『全心』『全力』を部訓とし努力しています。また、左写真にもありますが、冬期間に地域の奉仕活動除雪ボランティアをしたもので、校内外から「応援されるチーム・人間」をモットーに、日々練習・活動しています。

3) 進路先

本校野球部の卒業生は、礼儀正しさ、仕事に対する勤勉さや責任感等から、数多くの企業から歓迎されています。（過去5年）

就職・進学100% です！

【進学先】 北海学園大学、札幌大学、札幌学院大学、東京女子体育大学、札幌国際大学、文教大学、北翔大学、星槎道都大学、北海商科大学 他
各種専門学校 他 （道内外大学に進学多数）

【就職先】 公務員、YKKAP株式会社、カローラ商事、左官工業（株）、 他
（札幌市内外の企業にも多数就職）

※進学は数多くの学校指定校枠制度もあります。

野球部Q & A（令和2年3月現在）

Q1、現在の野球部員は何人いるのですか。

A、3年生部員16名、2年生部員5名、1年生5名の26名。3年生は夏大会終了後現在進学・就職活動です。（含マネージャー6人）

Q2、野球部は定期的な休みがあるのですか。

A、基本的には毎週月曜日は休養日で、お盆や冬期間などはしっかりと時間を確保しています。
定期考査の1週間前から大会がない限り原則休みとなり、学習会を開いたりしています。
また、12月25日頃から翌年の1月10日頃までアルバイト期間として、自分の用具費や部費などに充てたりできる期間があります。

Q3、練習時間はどれくらいですか。

A、平日は午後4時から7時00分の3時間00分が全体練習で、その後各自の自主練習の時間となります。シーズン中の土日はほとんどが練習試合になります。
また、夏季休業中などの練習も5時間程度です。

Q4、部費は月々いくら集めていますか。

A、1・2年生の冬（アルバイト期間終了後に）年間として3万円頂いています。
ボールやバットなどの野球用品などに使用しています。

Ｑ５、初心者でも入部できますか

Ａ もちろん入部可能です。翔陽野球部は１～３年生の部員全員が同じ練習をこなし、試合にでるチャンスも与えられます。また、道具の後片付けやグラウンド整備なども学年関係なしに全員で行います。選手間に強豪校にありがちな嫌な上下関係などは一切ありません。

Ｑ６、成績のほう心配なのですが

翔陽野球部の大きな特徴は”文武両道”を目指しています。定期考査前は野球部で勉強会を実施し、バットを鉛筆に持ち替えて学習しています。オフシーズンには野球と平行して、各種資格取得にチャレンジしています。多くの資格を取得することで、野球が終わった後の就職・進学にとても有利になっています。

それぞれの進路実現に向けて、野球だけでなく勉強や資格取得など様々な角度からバックアップを約束します。

（その他学校案内パンフレットに掲載されておりますので参照ください）

Ｑ７、通学が不便で、部活の時間が難しいのですが？

過去の卒業生の中には浜益方面や手稲方面の生徒もいました。また、手稲や西野から自転車・バスで通っている生徒もいます。バス時間や自転車通学などの通学の現状によって対応して進めています。できる限りの時間の中で、できる限り身体を動かして、「創意工夫」で進めていますので安心してください。

Ｑ８、強いですか？

その年によって勿論結果は変わってきます。５年前には札幌大谷を破り、ブロック決勝進出しました。今年は準決勝で南北海道大会に出場した北科大学高校に０－１という惜敗でした。決して強豪とは言えないですが、「仲間と共に自分たちで強く！」という志で、さらに、新チームは人数が少ないので、１年次スタートから即戦力としてプレーできるのが現状です。

最後に

石狩翔陽高校野球部は、私立学校優位という現状の打破を目指して、日々熱い練習を続けています。公立では比較的施設設備も整っており、「あきらめない心」を大切に勝負していく仲間たちです。

また、卒業生は一般生徒に比べ、企業や大学などからも歓迎され、立派な社会人へと成長し卒業していきます。その大きな理由は選手一人一人が自分で考え、鍛え、努力した結果だと思えます。

指示待ち人間が多い中、野球というスポーツを通して、「自ら判断して行動する」ことが出来るよう、石狩翔陽野球部はこれからも大きな目標に向かって努力していきます。見学なども可能ですので、進路選択の一つとして視野に入れていただければ幸いです。皆さんの入部を心よりお待ちしております。

